

令和元年度 第3回 日野町校区審議会議事録

項 目	内 容 記 録
1. 期 日	令和元年6月4日(火) 13:30 開会
2. 場 所	日野町役場 大会議室
3. 開会(閉会)	13:30~15:40
4. 出席委員等氏名	委員：本名俊正、山本武史、神庭賢一、下村敏彦、其山守美、 安達才智、伊田忠人、緒形明朗、水谷美鈴、小川明男、高田昭 徳、長谷川弘信、内藤佳代子、遠藤公俊 事務局：砂流誠吾、長谷部崇樹、遠藤律子
開会 課 長  5. 会長あいさつ  会 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野町校区審議会委員の交代について                日野中学校長 後藤宣明 → 安達才智                保育所保護者会代表 高田美樹 → 高田昭徳</li> <li>・今日、日野町に来てから歴史民俗資料館を見学したが、歴史を語る貴重なものだと思う。できれば子どもたちが学んで町に誇りをもてるようになれば良い。</li> <li>・全国的に少子化となり、文科省も学校教育のあり方改革に取り組む姿勢を示しており、日野町はその最先端にあると言っていい。                日野町の将来を背負っていく子ども、町外に行っても活躍できる子どもたちを育てていくことが必要。</li> </ul>
6. 報 告  会 長 課 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1) 第2回審議会の概要について事務局からお願いします。</li> <li>・資料1 H31.2.14 日野町校区審議会議事録                ○義務教育学校 湖南学園の視察訪問について                各委員から感想など次のような発言をいただいた。                施設設備が小中、上手く調整できているのか。                一つの校舎の中で、小学生まで中学生の学びが完結している。                施設一体型は、メリットはあるがデメリットはないと校長が言われたことが印象的。                小中学校の教員の関わりが非常に大事。                学校行事が9年間、成長に合わせて柔軟に計画されているところが良い。                教員の関わりとして、小学校と中学校の気質の違いをどう解消していくかが課題。                地域の願い、活動を取り入れる総合的な学習などは、一連</li> </ul>

のストーリーが組みやすく連携しやすいのではないかと。  
9年間のカリキュラムを少しずつ動かせることが良い。

○日野中学校区の学校のあり方について

資料を基に次のような議論をした。

人数だけでなく今の時代に合った、これからの時代を切り開いていく教育内容をどうするのか。そこから学校をどうしていくかを考えることが必要。

日野町は保小中一貫教育に取り組んでいるので、小中一貫校または義務教育学校という方向に行くのがよいのではないかと。

地理的な条件を考えると分離型は難しいのではないかと。  
新たな学校をつくるこの機に、適正な管理ができる学校環境を進めたほうがよい。

保育所も同じ施設内にあって、日野町に残っていく子どもたちを育てる教育システムができないかと。

資料を見ると日野町に該当しないところもあるので、慎重に審議する必要がある。

保護者からの意見を聞くと、慎重派が多い印象。

将来的に一貫教のメリットが役に立つか考えたときに慎重になる。

学校からは、学校行事や班活動について大きく考えていく必要があるといった意見あり。

小中一貫と地域関係はこれからの教育を進めていくうえでははずせない。

地域とのつながりを考えた場合、早急にするのではなく緩やかに進めていった方がよい。

子どもたちはある程度の人数の一体型の義務教育学校の中で成長していくのではないかと。

学校には地域文化を伝えていく役割がある。

○今後どのように進めていくか

アンケート調査について

義務教育学校等についての簡単な資料を作成し、内容を理解してもらってからアンケートを実施。

○新しい学校についての県内の状況

次回までに資料を準備する。

・(2) その他

県内の動き、状況について

資料 鳥取市立福部未来学園、鹿野地域小中一貫校

	<p>鳥取市立福部未来学園  行事予定  特色ある教育課程  初等ブロック さくら、1年、2年  中等ブロック 3年、4年、5年  高等ブロック 6年、7年、8年、9年  前期課程教科担任制 社会、理科、音楽、体育等  TT・少人数 算数・数学  TT 音楽、体育・保健体育、総合  独自教科 みらい科</p> <p>生活時程  前期課程 45分 後期課程 50分 組み合わせを工夫  10年間のグランドデザイン</p> <p>鹿野地域小中一貫校 鹿野学園  施設分離型 1～5年生 6～9年生  鹿野地域義務教育学校 5・4制  3年生から緩やかに教科担任制に移行  独自教科 表驚科 表現力とコミュニケーション力</p> <p>その他県内の状況  鳥取市内 江山中学校区 義務教育学校 来年度から  境港市 3つの中学校区 義務教育学校について検討  江府町 施設分離型 義務教育学校について検討  日南町 現在は特に新学校への動きなし  三朝町 学校統合 今年度から  伯耆町 将来は小学校2校に 議論中  米子市 美保中学校区が少人数のため検討する方向</p> <p>会 長 ・4月に義務教育学校等についてPTAに説明されたが、その時の雰囲気はどうだったか。</p> <p>課 長 ・資料1-1、1-2、2-1、2-2 当日配布  短時間であったため特に反応は分からなかった。  学校やPTAで何か聞かれたことがあれば報告願いたい。</p> <p>会 長 ・県内の状況についての説明に対して意見質問はないか。  ・湖南学園、福部未来学園、鹿野地域義務教育学校について  福部未来学園は保育園年長児を入れた10年生。  年中、年長を入れるかどうか検討が必要。  教科担任制を取り入れ、新科目として「みらい科」があり、  地域の宝物を学び誇りを持つ取組みが進んでいる。  鹿野町は鳥取市と合併する前に学校が統合し、新校舎となり</p>
--	---



	<p>保護者として子どもたちがどのように育っていったらよいか、考えを知りたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート配布対象者について</li> </ul>
会長	<p>保育所に入所されてない保護者に対しても、今後の学校教育を考えるならアンケートを配布すべき。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから学校に行く子どもたちなので対象とした方がよいと思う。</li> </ul>
課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児「おひさまひろば」に該当する家庭に配布すればよい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会として0歳から中学生の全世帯に配布した方がよいということであれば、未就園児世帯にも配布可能。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳～中学生まですべての家庭にアンケート調査を実施。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 総会時の説明の後どんな意見があったか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が無くて話ができず特に意見はなかった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根雨小も特になし。</li> </ul>
委員	<p>予想どおりの状況になったなという感じ。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間がなく次の話ができなかった。</li> </ul>
会長	<p>次の執行部に任せることとなる。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報は伝わった。</li> </ul>
会長	<p>学校が変わる可能性があるということは感じておられると思う。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問ごとに検討。</li> </ul>
委員	<p>設問1 黒坂小、根雨小校区の選択</p>
委員	<p>設問2 全町の中学3年生までの世帯が対象</p>
委員	<p>設問3 4つの選択肢</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問3 義務教育学校、小中一貫校についての資料添付などがあるか。</li> </ul>
課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への説明会で使用した資料を添付する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒坂小が昨年度、自由記述のアンケートを実施した際、小学校をひとつにする場合、根雨小学校に統合される意識があるのではないかという保護者の意見があった。</li> </ul>
委員	<p>黒坂小にひとつにまとめる選択肢はないのか。</p>
委員	<p>そのあたりをどのように捉えて保護者は回答するのか。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに設置するかは現段階では分からないこと。</li> </ul>
会長	<p>場所ではなく教育の問題としてどうしたらよいかということ。</p>
会長	<p>もうひとつは小学校と中学校をまとめるかどうかの問題。</p>
会長	<p>子どもの未来のためにどうしたらいいかを検討するのがこの審議会の役目。</p>
会長	<p>子どもの未来のためにどうしたらいいかを検討するのがこの審議会の役目。</p>

	<p>日野町を背負って立つ、日野町外に出ても活躍できる子どもを育てていくため、どのような教育をし、どんな学校にしていくか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が労働者として入っている時代。そのような中でも日野町の子どもが力をつけるために、どのような教育をこれからしていくのか、アンケートを実施して審議会として考えていく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校をひとつにするかどうか協議していくなかで、どこに建設するのか答申のなかに盛り込まなくてよいのか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまればよいが、まとまらなければ上位の委員会に委ねる。新しい学校を建設するには土地や予算が必要となるため協議するのが難しい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者は現状を考えて想定する。どこに建設するかは分からないがという前置きがないと自分中心に考えてしまいがち。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問1の小学校区の選択はなくてもよいのでは。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理的というより、教育環境として根雨か黒坂かという選択肢があってもよいのでは。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前PTAと話した時、黒坂小は統合したら小学校が無くなる根雨小は残るだろうという意識の温度差があった。黒坂小は統合には反対だが、義務教育学校などの新しい学校については考えるべきという意見だった。踏まえて根雨小、黒坂小の選択肢はあってもよいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの数が減り、社会全体が変わっていく中で、教育をどうすべきかという中身を考えることが重要。小学校区の選択については後で協議。</li> </ul> <p>外国人が多くなるような社会で活躍するため、少人数になってコミュニケーション能力が身につけられるか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問3については、説明資料プリントを添付する。</li> <li>・設問4-1について 修正、削除、追加などがあれば。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・設問4-2について 修正、削除、追加などがあれば。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級は小学校がひとつになっても解消されないことがあるのではないか。</li> <li>・「中学校進学時に卒業した学校による差ができない。」の「差ができない。」という表現は適切か。ひとつの学校になれば比較ができない。</li> </ul>

課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握できる人数だと複式学級はできない。 資料 1-2 によると合計して 15 人を下回っていないので、2024 年までは複式学級はできない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「差ができない。」という表現は修正する。場合によっては削除することもある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が多い方がよいというメリットについて深掘りできればよいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省の学級基準は、基本的にクラス替えができればよいという考え方。 以前日野中で 2 クラスに分けた時、競争心が生まれクラスのみとまりができて良かったということがあった。 人数が少ないと関係が密になるが、新しい交流ができない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数でも社会に通用する人間を育てるという本質を模索していかななくてはならないと思う。大きな学校で育った子の方が社会性の身に付いた人間になるのか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういうことではなく、教育の中身の問題。 小規模校だと教員配置についても特別な措置をしないとけない。 専門性についても英語や理科など教科担任制を取り入れた方がよい場合もある。 音楽の合唱や部活などある程度人数がいた方が、子どもたちの選択肢も増えるものもある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の配置など経済的な面で人数が多い方がよいか、精神的な面でチームが組めたり選択肢が増える方がよいか 2 種類ある。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済というより子どもたちにとってチャンスが少なくなるということ。頭数が揃う方ができるスポーツが増える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問 4-3 について ・選択肢が少し多いので誘導的に捉えられる。 他の設問の選択数に合わせた方がよいのでは。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問 4-3 「小学校段階から、より専門的な支援などがなされ」の「専門的な支援」について保護者はよく分からないのではないか。</li> </ul>
課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任制をイメージしているが、表現が難しい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相互乗り入れ」というのは保護者に分かるのか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任制は、たとえば中学校の英語の先生が小学校の英語を受け持つこと。小学校の先生が部活動を持つこともある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の先生が「協働」でできるということを記載したら</li> </ul>

	<p>よいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「より専門的な支援」は「TT 支援」にしたらどうか。</li> <li>・「TT 支援」の意味も分からない。</li> <li>・「より専門的な支援」は「協働」でできることとまとめて、ひとつの選択肢とすれば。</li> <li>・アンケートの書き方として、後の設問の選択肢を見てから前の設問に答えるパターンがあると思うが、保護者会の活動に余裕がでるという項目があってもよいのではないか。義務教育学校としてひとつの学校になると、保護者数も増えるので保護者会活動に余裕がでるのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数だと保護者が全員参加するというものメリットだと思うので加えてもよいのでは。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の仕事とか、ボランティアとか軽減される部分が違ってくと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育学校や小中一貫校について PTA 総会で説明はされたが、アンケートに答える保護者はまだあまり理解できていないため、選択肢により意図的と捉えられるかもしれないが、義務教育学校など新しい学校教育ができる可能性がある、見通しをもって夢を膨らます方が次に進みやすいのではないか。設問の選択肢を同じにする必要はないのではないと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖南学園等を視察された方は分かるが、初めての方はイメージが湧かないと思う。学校の仕組みが変わるということも含めて理解していただきたいが、PTA が集まる機会がなかなか無い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日は参加が少ないので、学級ごとに集まったときに説明することはできる。PTA 総会以外、全員が集まることはない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度末に答申を出す予定。アンケートの時期、設問について検討し決定しなくてはならない。</li> </ul>
課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな学校にする場合、位置についても決めて答申に入れてほしいという諮問となっている。</li> <li>審議しても決まらない場合は仕方がないが。</li> <li>アンケートに入れるかどうか審議いただきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育学校など新たな学校建設となると、場所も審議する必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所についてもアンケートに入れ、任期までに何回かアンケートを実施し保護者の意識がどう変わっていくか調べてもよいのではないかと思う。</li> <li>・保育所も含めて審議していった方がよいのでは。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所統合はいろいろ経過があったが、日野町の予算内のことであったため、運営しやすい方向で早く決定したと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所で一緒だった子どもたちが別れるのはどうかと思う。</li> <li>・アンケートを何回か実施して集約する方法もある。</li> <li>・新たな学校にする場合の設置場所について、アンケートに入れるかどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問1については、あっても無くてもよいと思う。</li> <li>・場所については、保護者も悩むと思うので無くてもよいのでは。どちらでもよい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートは現状把握のためにも早く実施した方がよい。</li> <li>・場所についてはもう少し先に検討したいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区については分析にも利用できるので設問があってもよいのではないか。</li> <li>・湖南学園や福部にしても、もともと小中学校が1校ずつだったので一貫校がつくりやすいが、日野町は小学校が2つあるのが全然違う。義務教育学校等になるということは、1つの学校になると思われがちだが、実際には分離型の一貫校になる場合もある。保護者は施設一体型になると思うのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校にするのなら成果のあがる施設一体型にした方がよいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿野は6年生が中学校校舎になるので文化交流できて良いが校舎が離れていると不便である。</li> <li>日南町は校舎は近いが、校長が別々なのでなかなか一貫教育が進んでいない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取市に小学校2校と中学校1校がひとつになる例があるが、入学生が少ないため保護者からの要望で小学校が統合されることになり、次に中学校と一緒にあった学校をつくるということが地域でまとまった。</li> <li>校舎は増改築して小中学生が使えるようになる予定。</li> <li>分離型だと成果があがらないということが分かったからの決定だと思う。</li> <li>・設問1はそのままにして、アンケート内容を事務局で再考し皆さんに見ていただいてから実施したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート内容については会長に一任し、早く実施した方がよいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私と事務局でアンケートを再度作成し、中学生までの全世帯に配布する。</li> </ul>

8. その他 課 長	<ul style="list-style-type: none"><li>・当初は4ヶ月に1回の審議会を想定していたが、6月中にアンケート実施し、7月には集計ができるので、8月以降に次回審議会を開催したい。回数が増えることとなる。</li><li>・PTAの会があり説明が必要であれば声かけをしてほしい。</li></ul>
---------------	---

令和元年6月4日

日野町校区審議会